第３学年２組　学級活動⑵学習指導案

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日時：令和５年１０月１１日（水）第５校時

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　場所：３年２組教室　　　授業者：小河　悟

１　題材名　よりよい一日の計画づくり

　　　　　　エ　心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成

２　題材について

（１）生徒の実態

（略）

（２）題材設定の理由

　　　　生徒は前年度に、リスクを予測し回避していく手段を考え実践できる力を身に付けるため、様々な問題が起こりうることを前提に、一歩立ち止まり考えることについて学んでいる。本時は、中学校３年生として、自ら主体的に判断してキャリアを形成する力を身に付けることを目指し、自律したメディア利用を意識させながら、タイムマネジメント力を身に付けさせることができるようにする。

指導にあたっては、自身の時間の使い方を視覚的に捉えられるよう、Google Jamboardのマトリックス上で生活の項目を記した付箋を移動させることで、自身における優先すべき項目を可視化させる。それを全体で共有し、級友の考えを知ることで、自身にない視点に気付き、よりよい一日のスケジュールを考えるように指導したい。

３　他教科との関わり

|  |  |
| --- | --- |
| 技術科（１０月） | ４編 情報の技術　１章 情報の技術の原理・法則と仕組み④安全に利用するための情報モラル⑤安全に利用するための情報セキュリティ |
| 道徳科（１０月） | 主題名「自制する心」　教材名「歩きスマホをどうするか」　　価値　Ａ　節度・節制　歩きスマホについて話し合うことを通して、歩きスマホをしてはいけないことの意味や、これからの生活を送る上で大切にしたい心がけについて、自分事として考えた。 |

４　本時の目標

　　自身のよりよい時間の使い方について、自分自身の生活や勉強など優先順位の高い方から分類し整理することを通して、一日のスケジュールを考え、意思決定することができる。

５　学習過程

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学　習　内　容　・　活　動 | 形態 | 時間 | ○指導上の留意点　◇評価（方法） |
| つかむ | １　本時の課題を把握する。　(１)事前アンケートの結果について共有する。(２)本時の課題を把握する。時間の使い方を見直し、よりよい一日のスケジュールを作ろう | 全体 | ５ | ○時間の使い方について、視覚的に理解することができるようにする。〇保護者のアンケートも同様に示すことで、自身の認識とのずれに気付くようにする。 |
| さぐる 見つける | ２　自身の時間の使い方を振り返る。(１)平日の時間の使い方を共有する。・宿題をする　・スマートフォンで動画を視聴する・読書する・お手伝いをする・ゲームをする　　など(２)Google Jamboardを活用し、自分の一日の行動を１つずつマトリックス上に整理する。　やらなくてもよいやったほうがよい自分のため相手のため(３)級友の考えを知る。(４)心身の健康とメディア利用の関係性について理解する。３　一日のスケジュールを作成する。　(１)マトリックスを参考に、一日のスケジュールを作成する。　　(２)一日のスケジュールを作成する際の工夫について、全体で共有する。 | 全体個人全体個人全体 | ２０１５ | ○生活、勉強、習い事、趣味など多様な観点から想起するよう促し、自身の時間の使い方を具体的に意識できるようにする。○タブレット画面のマトリックス上で、生活の項目を記した付箋を移動することで、自身における優先項目を可視化する。○メディアに関する項目の付箋の色を他と変えることで、自身の生活におけるメディア利用の位置付けや優先度に気付くことができるようにする。○付箋にない項目は、２つ以内で各自に作成できるようにする。その際、付箋の色は変えるよう伝える。○作成したマトリックスはオクリンクを使い、共有する。〇事前のアンケートを用い、具体例を交えて理解させる。〇月曜日から金曜日の時間の使い方を記入できるよう、ワークシートを工夫する。○作成した際の工夫点を書くよう促すことで、自身の時間の使い方について、より自覚できるようにする。○共有する際は、マトリックスとスケジュールを同時に提示することで、比較できるよう工夫する。 |
| 決める | ４　本時の学習を振り返る。(１)特に実践したい時間の使い方を決める。 | 全体 | １０ | ○今回の学習で学んだことを踏まえ、感想を発表することによって、実践しようとする意識を高めさせる。◇これまでの学習を活かし、自己の課題解決に向けて、時間の使い方を考えているか。（思・判・表）【ワークシート・発言】 |

〇授業実践後の感想

　・時間の使い方について、授業者が事前に整理する時間をとっておらず、授業前後の変容を掴むことができなかった。また、生徒の家での生活に関する悩みなどを具体的にとらえておく必要があった。

　・「よりよい」の判断は生徒によって異なる。その差異に注目し、自己選択をさせる必要性を感じた。

　・実践から少し時間が経過してからもう一度自分の生活を見直し、自分の目標を守れているかどうかを反省することで、トライアンドエラーを繰り返しながら、優先順位を学ばせていきたい。

〇授業の反省

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学　習　内　容　・　活　動 | 形態 | 時間 | ○指導上の留意点　◇評価（方法） |
| つかむ | １　本時の課題を把握する。　(１)事前アンケートの結果について共有する。(２)本時の課題を把握する。時間の使い方を見直し、よりよい一日のスケジュールを作ろう | 全体 | ５ | ○時間の使い方について、視覚的に理解sすることができるようにする。〇保護者のアンケートも同様に示すことで、自身の認識とのずれに気付くようにする。 |
| さぐる　　　　　　　　　　　　　見つける | ２　自身の時間の使い方を振り返る。(１)平日の時間の使い方を共有する。・宿題をする　・スマートフォンで動画を視聴する・読書する・お手伝いをする・ゲームをする　　など(２)Google Jamboardを活用し、自分の一日の行動を１つずつマトリックス上に整理する。　やらなくてもよいやったほうがよい自分のため相手のためなるべくマトリックスの傾向の異なる生徒をピックアップし、様々な意見があることを意識させた。(３)級友の考えを知る。(４)心身の健康とメディア利用の関係性について理解する。３　一日のスケジュールを作成する。　(１)マトリックスを参考に、一日のスケジュールを作成する。　　(２)一日のスケジュールを作成する際の工夫について、全体で共有する。 | 全体マトリックス作成に一番時間を割いた。個人ストレートネックを取り上げた。また、自分がストレートネックになっていないかどうか、実際に互いに見合うなどして確認した。全体個人共有する際は、電子黒板に発表者のマトリックスを、黒板に一日のスケジュールをプロジェクターで投影し、見比べながら発表できるように工夫した。全体 | ２０１５ | ○生活、勉強、習い事、趣味など多様な観点から想起するよう促し、自身の時間の使い方を具体的に意識できるようにする。○タブレット画面のマトリックス上で、生活の項目を記した付箋を移動することで、自身における優先項目を可視化する。○メディアに関する項目の付箋の色を他と変えることで、自身の生活におけるメディア利用の。位置付けや優先度に気付くことができるようにする。○付箋にない項目は、２つ以内で各自に作成できるようにする。その際、付箋の色は変えるよう伝える。○作成したマトリックスはオクリンクを使い、共有する。〇事前のアンケートを用い、具体例を交えて理解させる。〇月曜日から金曜日の時間の使い方を記入できるよう、ワークシートを工夫する。○作成した際の工夫点を書くよう促すことで、自身の時間の使い方について、より自覚できるようにする。○共有する際は、マトリックスとスケジュールを同時に提示することで、比較できるよう工夫する。 |
| 決める | ４　本時の学習を振り返る。(１)特に実践したい時間の使い方を決める。 | 全体 | １０ | ○今回の学習で学んだことを踏まえ、感想を発表することによって、実践しようとする意識を高めさせる。◇これまでの学習を活かし、自己の課題解決に向けて、時間の使い方を考えているか。（思・判・表）【ワークシート・発言】 |